

## 調査事業について

### 1 業務名

芸備線クロスセクター効果分析その他業務

### 2 業務期間

契約締結の日から令和 8 年 3 月 19 日まで

### 3 業務目的

広島広域都市圏内の自治体のうち、J R 芸備線沿線に位置する三次市、安芸高田市及び広島市の 3 市は、一つの経済体として広域的に連携し、主体的なまちづくりを進めていくための抜本的対策の一環として、J R 芸備線を軸とした公共交通ネットワークのあり方について議論するため、昨年 5 月に三次・安芸高田・広島まちづくり交通協議会を設置し、3 市が連携したまちづくり及び移動創出に係る課題を整理しているところである。

本業務は、今後、3 市が連携したまちづくりを進める上で必要となる J R 芸備線を軸とした公共交通ネットワークのあり方について議論するため、J R 芸備線が有する価値や沿線自治体に与える多面的な効果などを確認及び可視化させるとともに、協議会に向けた資料作成を行うものである。

### 4 業務内容

#### (1) クロスセクター効果分析（多面的な効果の検討）

芸備線（三次駅～広島駅間）が生み出す多面的な効果のうち、地域公共交通として人々の移動を支えることに伴う行政コストへの影響を定量的に算定するクロスセクター効果の分析を行う。

#### (2) クロスセクター効果分析に係るアンケート調査

芸備線の沿線住民、利用者等に対して調査を行い、クロスセクター効果の分析、利用実態の分析、芸備線に求めるニーズの把握等の参考とする。

#### (3) 報告書作成

本業務で分析した結果を報告書にとりまとめる。